

みんなの議会 おおさと

定例会



町花：つつじ

令和7年11月1日

No. 2220

祝 令和7年度大郷町敬老会

羽生田植踊



02 令和6年度決算

06 町入意見・提言

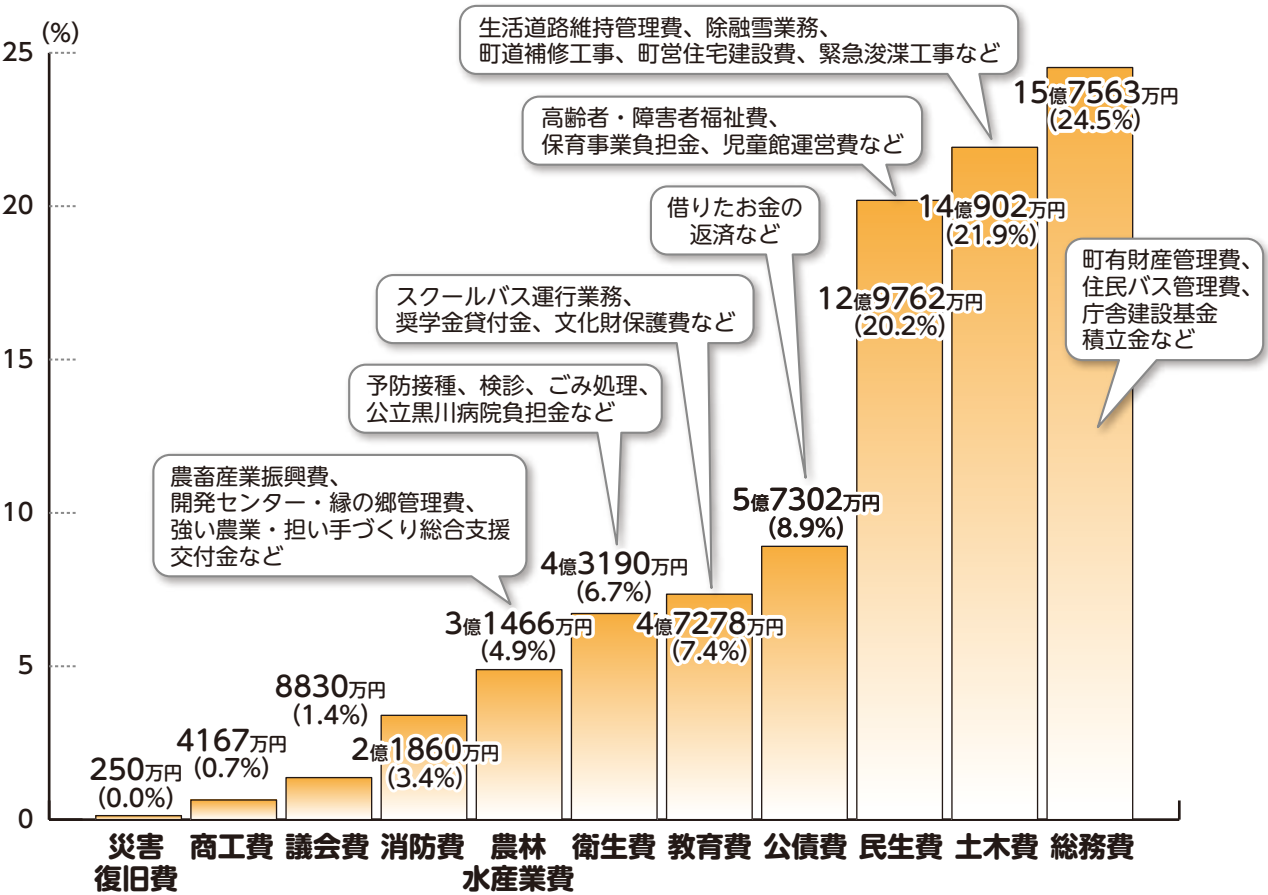
14 9名が町政を質す（一般質問）

27 追跡リポート

令和6年度
一般会計 決算

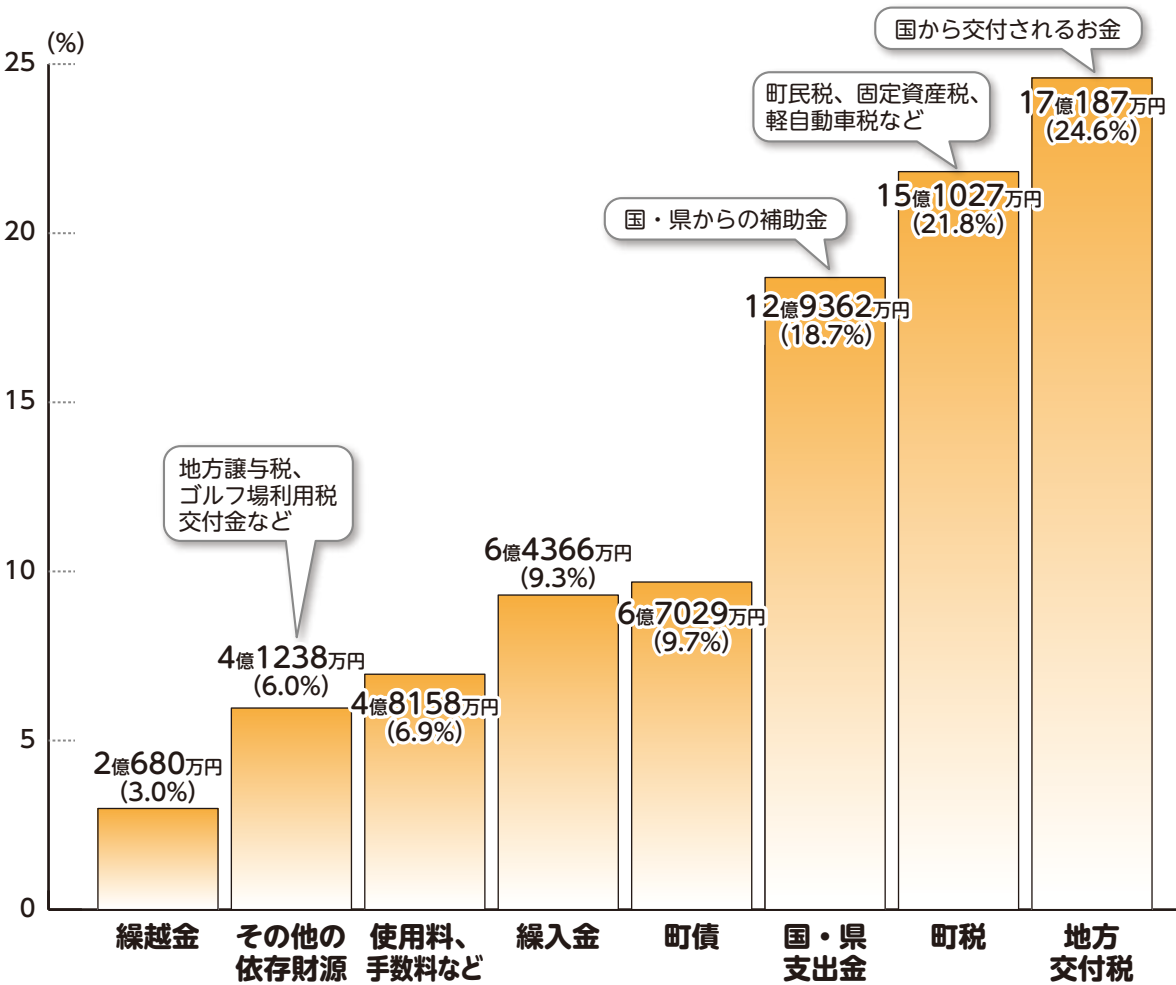
復興推進、子育て支援等へ

令和6年度一般会計の決算は、歳入は前年度より6735万円減、歳出は前年度より8469万円増となっている。また、歳入歳出差引額は4億9477万円であった。



一般会計

歳出 64億2570万円
(翌年度繰越額3億3822万円)



一般会計

歳入 69億2047万円

令和7年第3回定例会は、9月12日から30日までの19日間の会期で開かれた。令和6年度決算を審議し、一般会計、4つの特別会計および水道事業・下水道事業を含む、総額95億円の決算を認定した。(採決結果一覧はP9、P13に掲載)

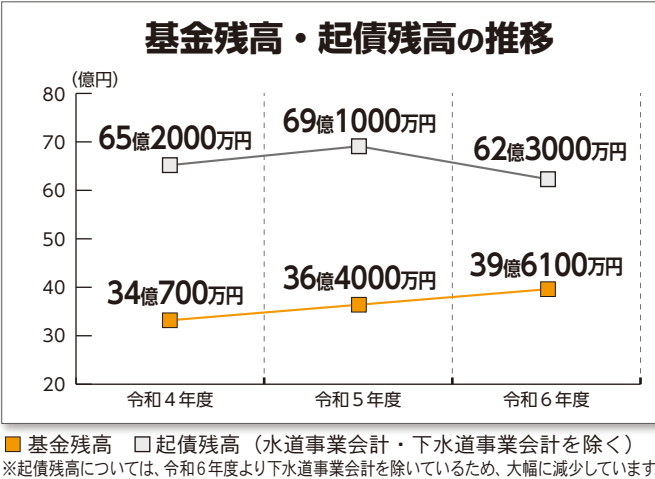
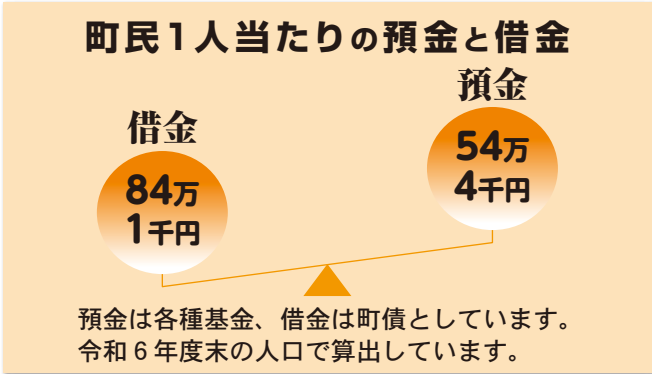
●各種会計歳出決算額●

会計別	令和6年度決算
一般会計	64億2570万円
特別会計	
国民健康保険	9億5530万円
介護保険	11億5698万円
後期高齢者医療	1億835万円
宅地分譲事業	2288万円
水道	
収益的支出	2億3835万円
資本的支出	9480万円
下水道	
収益的支出	3億6172万円
資本的支出	1億7949万円
合計	95億4356万円

※1万円未満は四捨五入

主な事業

- 粕川地区防災コミュニティセンター建築工事 4億291万円
- こども園、小・中学校バス運行経費 6834万円
- 小・中学校、保育園など給食費無償化補助金 3579万円
- すこやか子育て医療費助成 3265万円
- 多面的機能活動組織交付金 5488万円
- 中村急傾斜地崩壊対策事業 4214万円
- 割り増し商品券発行事業 549万円
- 成田橋橋梁修繕工事 1億8426万円



一般会計・特別会計・事業会計予算 徹底検証

令和6年度の決算を審査するため、特別委員会を設置し、5日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。

本会議では委員会審査報告の後、一般会計および各種会計を認定しました。



佐々木 和夫 委員長



▲幅広い世代の参加を

問 委員の人数は。
答 手上げ方式だが、幅広い構成となっていない。会議の曜日や時間帯も含め、オープンな形でより多くの人が参加できるようにしていきたい。

政策審議会

問 区長会議での意見は。
答 行政区を統合すべきなのか、そのままでのよいのか、話し合いを行った。慎重に対応していく課題だが、早めの方針を出せればと思う。

行政区の再編

生活の利便性向上を

問 区長会議での意見は。
答 行政区を統合すべきなのか、そのままでのよいのか、話し合いを行った。慎重に対応していく課題だが、早めの方針を出せればと思う。

問 貸付額の上限を4万円から上げる考えは。
答 国が日本学生支援機構などを通じて行っている奨学金などは上限が4万円となっており、町の上限額が低いとは考えていない。

奨学資金貸付

給食センター

問 米の価格高騰の影響は。
答 米は県の学校給食協会を通して購入している。1食あたり10円以上値上がりしている。

地域おこし協力隊

問 隊員の選任方法は。
答 必要としている人材を募集し、応募をいただき、審査、面接をして採用する形が基本になる。

安全・安心な生活環境を

かわまちづくり事業

問 河川敷が浸水することは想定内か。
答 ある程度の浸水は許容していくが、河道掘削などの効果により浸水する頻度が減っている。

▶整備が進む河川敷



老人ふれあいの家

問 現状はどうなっているのか。
答 隣接の民間施設が競売中。民間施設がどのように活用されるかによって、ふれあいの家の動向も決まっていく。

野球場

問 芝管理の費用対効果は。
答 利用者に安全に使っていただくために芝管理の経費は必要。

▶競技人口の増加に期待



公共施設

問 エアコン設置の考えは。
答 各施設に設置は必要だが、結構な費用がかかる。優先順位を考慮しながら検討していきたい。

▶早めの暑さ対策を



防犯灯

問 要望しないと設置されないのか。
答 基本的には地区から要望があった箇所に設置となる。

防犯カメラ

問 主要な道路以外にも設置を。
答 1カ所設置するとランニングコストも含めて約50万円かかる状況。設置場所も課題となっている。

▶再開が待たれる



縁の郷

問 指定管理者の募集は。
答 1月に指定管理者の公募を行ったが、応募者がいなかった。できるだけ早く指定管理者を選定していきたい。

おおさとまつり

問 継続して実施しては。
答 周年まつりとして盛大に実施し、花火も多めに打ち上げ好評だった。実行委員会では5年に1回の夏祭りとして位置付けている。



▲祭りで町に活気を

出産祝金

問 1人目に1万円、2人目に2万円などを支給する制度を変更する考えは。
答 出産一時金として5万円前後を考えている。出産祝金の制度も合わせて検討していきたい。



▶子育て応援、初めの一歩

敬老会

問 開催方法を見直す考えは。
答 年々出席者が減っている。見直しなどを考えた方がよいとの話は出ていた。今後検討していく。

町当局へ17項目の意見を提言

推進 庁舎基金の目標

庁舎建設基金の目標額を示されたい。

問 基金の目標額はいくらか。

答 15億円～20億円を目指す。

推奨 不納欠損の未然防止を

不納欠損に至らないように引き続き努力されたい。

問 不納欠損にならないための対策は。

答 執行停止の処分後も資力回復調査を行い、生活再建ができていないか毎年確認している。

強化 有害鳥獣対策の強化を

有害鳥獣対策のさらなる強化に努められたい。

問 有害鳥獣対策の強化を求める。

答 猟友会の方と調整を図り、各種補助金を活用しながら、被害対策に努めていく。

強化 不法投棄対策の強化

ごみ不法投棄の対策強化に努められたい。

問 不法投棄の対策は。

答 過去に不法投棄の実施が見られた現場に看板などの設置を行っている。

推進 施設の更新と漏水調査

老朽化した施設の更新と漏水調査を継続し、有収率の向上に努められたい。

問 水道施設の点検やメンテナンスの対応は。

答 業者と相談し、予算が必要であれば検討していきたい。

強化 検診受診率の向上

引き続き各種検診の受診率向上に努められたい。

問 受診率向上の考えは。

答 罹患者の方の意見を伺い、受診を勧奨するチラシを作成して配布した。

改善 旧牧場・ふれあい農園の利活用

「旧大郷牧場・ふれあい農園」の利活用について、早急に方向性を示されたい。

問 旧大郷牧場の活用方針が定まっていないが。

答 維持管理費や借地料を払っていくということには疑問がある。



▲利用者が減少したふれあい農園

強化 危険ブロック塀の撤去を

危険ブロック塀の早急な撤去に努められたい。

問 どのぐらいの長さが残っているか。

答 180m残っている。今年度1件対応予定で、20m弱対応する。

改善 返礼品充実で寄付確保を

ふるさと納税返礼品の種類を充実し、寄付金の確保に努められたい。

問 米袋など町独自のパッケージは。

答 各法人が米袋の在庫を持っているため、対応が難しい。

改善 公共交通体制の構築

総合的な公共交通体制を早期に構築されたい。

問 地域公共交通協議会でどのような対応をするのか。

答 地域公共交通の計画を作成し、実証実験を行う。



強化 学力・体力向上の推進を

学力・体力向上に向けた積極的な取り組みに努められたい。

問 児童生徒の学力・体力向上のために努力が必要では。

答 校内研究という形で研修会を行っている。

推進 無形文化財の保存継承を

無形文化財の継承に努められたい。

問 地域だけではなく、大郷の問題として考えてほしい。

答 町全体として保存・継承をしなければいけない。

改善 介護保険料見直しを

介護保険料の見直しを図られたい。

問 介護保険料が高いので引き下げてほしいという声がある。

答 保険料が高いのは重々承知しているが、なかなか下げる余地もない。

改善 団員、隊員の定数確保を

消防団員・交通指導隊員の定数確保に努められたい。

問 今の状況は。

答 消防団員は定数310名に対して、207名となっている。交通指導隊員は定数25名に対して、7名となっている。

推進 ふれあい号の利便性向上を

ふれあい号の利便性の向上に努められたい。

問 今の車から8人乗りとか、乗りやすい車に買い替えることは。

答 今後の検討としている。

推進 官民連携で空き家活用

官民連携による空き家の有効活用を図られたい。

問 空き家バンクの登録件数を増やす努力は。

答 登録件数は少ない。空き家アドバイザー協議会と連携していく。

推進 町道の維持管理

町道の計画的な維持管理を図られたい。

問 町道の白線が消えている箇所が目立っている。

答 計画的な修繕を行っていききたい。

一般議案は条例の一部改正 3 件について審議し、原案どおり可決しました。ほか 2 件の報告がありました。

【議案第40号】

大郷町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置を講じる内容への改正

【議案第41号】

特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

部活動地域展開推進協議会の会長及び委員の報酬を追加

【議案第42号】

大郷町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

地方公務員の育児休業等に関する法改正に伴う条例改正

総括

質疑

認定第1号

令和6年度 大郷町一般会計
歳入歳出決算の認定について

鎌田 暁史 議員

施策の効果と課題は

問 昨年度の施政方針にある「雇用の確保」や「地域活性化」について、主要な施策と課題は。

答 かわまちづくり事業を含むスマートスポーツパーク構想や前川圃場整備事業、企業誘致、子育て支援の強化など、町全体の活性化につなげるための政策を実施してきた。しかし、民間企業との連携、住民理解の促進、財政的課題などの課題が伴っており、これらをいかに克服するかが今後の重要な課題である。

討論

認定第1号

令和6年度 大郷町一般会計歳入
歳出決算の認定について

反対討論

鎌田 暁史 議員

予算への指摘が
反映されず

令和6年度の一般会計予算に対する反対討論で指摘された事項が盛り込まれないままで決算となるため認定には反対する。

以下を要望する。

①水道料金の引き下げ

②介護保険料を引き下げるための検討、取り組み

スマートスポーツパーク（SSP）構想の賛否を問う住民アンケート予算には疑念が残る。

町議会解散の賛否を問う住民投票予算を当年度に繰り越すことは容認できない。

より効果的な事業推進を

監査委員の意見（要約）

一般会計

全ての会計において黒字決算となったが、依然として財政を取り巻く環境は厳しく予算を許さない。

今後の財政運営にあたっては、物価高騰が常態化し先行きが不透明な経済情勢であるが、町民の負託に応え未来ある大郷町に向けて、財政健全化を進めるとともに、限りある財源を最大限に有効活用し積極的な事業推進を図りたい。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険各特別会計

保険給付費が増加している。各種検診や保健指導を推進するとともに、地域支援事業の

推進を図りたい。

宅地分譲事業特別会計

事業については令和4年度をもって一旦終了。

水道事業会計

引き続き漏水調査と建設改良事業の推進により、安心・安全な給水を図りたい。

下水道事業会計

公共水域の水質保全および町民の生活様式改善のため、水洗化の促進に努められたい。

改善・要望

- ・振替代休の時間外勤務手当での精算が散見されたので、事務体制を改善し健全な職場づくりを図りたい。
- ・予算編成にあたっては積算の誤りや欠落に注意を払われたい。
- ・収入未済金について、さらなる収納成果の向上を図りたい。
- ・消防団員と交通指導隊員の加入促進を図りたい。
- ・有害鳥獣対策の強化を図られたい。
- ・新公会計を見据えた備品台帳の整理を図られたい。
- ・町道の未登記案件の解消を図られたい。

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	石垣正博	高橋重信	熱海文義	田中三恵子	金須新一	鈴木恵子	佐々木和夫	赤間則幸	鈴木利博	鎌田暁史	赤間繁幸	鈴木安則	採決結果
決算認定	一般会計	64億2570万円	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	特別会計														
	国民健康保険	9億5530万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	介護保険	11億5698万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	後期高齢者医療	1億835万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	宅地分譲事業	2288万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	水道事業	①収益的支出：2億3835万円 ②資本的支出：9480万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	下水道事業	①収益的支出：3億6172万円 ②資本的支出：1億7949万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

○：賛成 ●：反対 継続：継続審査 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石垣正博）は採決に加わらない。

2000
万円

かわまちづくり事業実施計画業務



▲かわまちづくり事業イメージ

整備手法の比較検討

【類型ごとの概要】

公設公営…町の計画・仕様での発注で民間ノウハウを活用する余地が限定的になるが、直営のため、町の意向を反映できる

公設民営…設計段階から民間ノウハウを活用でき、指定管理者の選定や運営に町の意向を反映できる

民設民営…設計段階から民間ノウハウを活用できるが、商業ベースでの運営が前提となり、町の意向が反映しづらくなる

⇒時流や世相に合わせた柔軟な経営をしつつ、町の意向を反映し町民福祉の向上を図る公設民営方式の検討を深める

安心安全なまちづくり

9月定例会
補正予算

令和7年度一般会計補正予算（第4号）は歳入歳出それぞれ2億1311万1千円を、（第5号）は2000万円を追加し、歳入歳出それぞれ59億1571万3千円となった。

今回の主な



7215
万円

除融雪業務



▲通勤・通学の安全のために

2090
万円

町道補修工事



▲安心して歩けるまちに

541
万円

旧櫻井家西側排水工事



西隣家側法面

問 排水施設工事の具体的な内容は。
答 敷地西側の法面から隣接する土地に土砂、落ち葉、雨水の流入がある。排水路の整備、木の伐採、法面の整形など最低限の工事を行う。

議案採決結果一覧表																
分類	議案名 (略称)		採決結果	鈴木安則	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	高橋重信	石垣正博	
9月定例会	報告第10号	健全化判断比率について	報告のみ													
	報告第11号	資金不足比率について														
	議案第40号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第41号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第42号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第43号	一般会計（第4号） 58億9571万円（2億1311万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第44号	特別会計 国民健康保険（第2号） 10億1580万円（3563万円↑） 介護保険（第2号） 11億9053万円（1139万円↑） 後期高齢者医療（第1号） 1億1061万円（109万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第45号		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第46号		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第47号		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第48号	下水道事業会計（第1号） ①収益的支出：3億6469万円（124万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第49号	一般会計（第5号） 59億1571万円（2000万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
会	請願第2号	「診療報酬及び介護報酬の抜本的引上げ等による労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める意見書」提出についての請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	委発第2号	診療報酬及び介護報酬の抜本的引上げ等による労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める意見書（案）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

（↑）は増額、（↓）は減額
○：賛成 ●：反対 継続：継続審査 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石垣正博）は採決に加わらない。

次回
定例会

予定12月2日(火)から
午前10時～
12月5日(金)まで
みなさんの傍聴をお待ちしています。

ライブ中継と録画を動画
サイト「YouTube（ユー
チューブ）」にて、配信し
ています。右記のQRコード
よりご覧になれます。

意見書

【委発第2号】
提案者
教育民生常任委員長
賛成者
鈴木安則
赤間繁幸
鈴木利博
赤間則幸
金須新一
田中三恵子

国に意見書を提出しました
〔意見書名〕
診療報酬及び介護報酬の抜本的引
上げ等による労働者の処遇改善と医
療機関や介護施設の経営改善を求め
る意見書
〔提出先〕
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
内閣官房長官

請願

「診療報酬及び介護報酬の抜本的引上げ等による労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める意見書」提出についての請願を教育民生常任委員会に付託した結果「採択すべきもの」と決定。これに基づき本会議で採決した結果、全会一致で採択となった。

討論

請願第2号
賛成討論
鈴木 利博 議員
診療・介護報酬の引上げを
ロシアのウクライナ侵攻から、物価高が始まり、
コロナの影響により飲食店業界を始め、倒産する事
業者がますます増えている。
2024年問題でのドライバー不足や様々な業界
での人手不足もあり、昨今では、資材高騰が悪影響
を与え、業種問わず倒産する事業者が続発している
ことは、皆さんご承知の通りである。これはいつま
で続くか先がまだ見えない状況である。
決して医療業界だけが例外ではなく、継続してい
くのには、診療報酬や介護報酬の見直しは必要不可
欠な状況である。
民間事業者にも同様に賃金アップは必要と思われ
るが、まずは、私たちが生活していく上で、病気・
ケガは、いつ遭遇してもおかしくない。よって、ま
ずは医療事業者を救うためにも今回の請願書には賛
成すべきと考える。



たなか みえこ
田中 三恵子 議員



指定避難所に冷房設置を

補助金の状況を踏まえ検討（町長）

問 災害時の指定避難所として指定された公立小中学校の体育館の冷房設置には地域格差がある。近年の自然災害の激甚化、頻発化を踏まえると、指定避難所に早急に冷房設置が望まれる。設置計画、想定事業費や、補助金申請による試算など、検討状況について伺う。

答 町長 事業費の試算は行っていない。設置計画など補助金の状況を踏まえ検討していく。

問 防災施設のトイレ充足率や多目的トイレの設置状況と、不足分についての対策を伺う。

答 町長 簡易トイレおよび目隠し用テントを備蓄、多目的トイレは8カ所に設置。トイレ充足率は過去、

災害時仮設トイレを準備した。

問 学力不振や不登校は当町でも課題だが、民間と学校やケアハウス、地域との連携を検討してはどうか。

答 町長 学力向上、不登校について、民間とどのような連携が可能か確認し今後検討する。

問 地域おこし協力隊の受け入れを農業関係に限定せず、教育環境の充実を目的とするなど枠を広げてはどうか。

答 町長 本町の教育課題を解決するため多様な人材の確保が必要。今後は学習塾の運営に向けた検討とともに、地域おこし協力隊の活用も含めた必要な人材の確保に努めていく。

問 学校行事の際に駐車場が少ないという声がある。安全面の課題や敷地確保など難しい問題だがどのように検討されているか伺う。

答 町長 旧中村駐在所跡地を今年4月から利用開始

教育環境の充実

SSP構想

問 本構想は国の6省庁や県、企業、地権者などの関係機関と計画し推進してきた。計画見直しや中止となった場合、各関係機関とどのような調整を図っていくか、そのタイミングやスピード感について伺う。

答 町長 地権者の皆さまや各関係機関との信頼関係を維持し、誠意をもって今後の対応について協議していく。



▲多目的トイレ設置の促進を

次ページから一般質問

9名が町政を質す！



質問議員	質問件名	掲載ページ
たなか みえこ 田中三恵子 議員	1. 防災に強い町づくりについて 2. 教育環境について 3. おおさとSSP構想について	P 15
きす しんいち 金須 新一 議員	1. 今後の町政運営について 2. 公用車へのドライブレコーダー設置向上と事故防止対策について 3. 災害時におけるペットの同行避難について	P 16
かまだ あきふみ 鎌田 暁史 議員	1. 新町長の公約について 2. 水道事業について 3. 町民の福祉向上について	P 17
すずき やすのり 鈴木 安則 議員	1. SSP構想について	P 18
すずき としひろ 鈴木 利博 議員	1. 小・中学校での暑さ対策 2. フードドライブ＆フードバンクを 3. 大郷中学校の校庭整備を	P 19
あかま しげゆき 赤間 繁幸 議員	1. 「まちづくりはひとづくり」について 2. SSP構想について	P 20
すずき けいこ 鈴木 恵子 議員	1. 子供たちの未来に支援を 2. 在宅介護家庭の支援について	P 21
あかま のりゆき 赤間 則幸 議員	1. 既存の施設の有効活用について 2. SSP事業について	P 22
ささき かずお 佐々木和夫 議員	1. 新しい「おおさと」について 2. 再生可能エネルギー普及に伴う現状と今後の課題について	P 23



かま だ 鎌田 議員
あき ふみ 暁史 議員



「SSP構想」見直しの方針は

開かれた形で丁寧に進めていく(町長)

問 スマートスポーツパーク(SSP)構想の見直し作業の概要は。
答 町長 これまで関係してきた各行政機関、地権者の皆さまとの対話の場を設け、多角的な視点から課題を洗い出す作業を進めていく。町民の皆さまに開かれた形で、丁寧に進めていくことを約束する。
問 吉田川の河道掘削は今年度末で終了予定。盛土に必要な土量の確保は困難では。
答 町長 代替となる土砂の確保や、残土の有効活用が可能な新たな手法の有無など確認を進めていく。
問 奨学資金返済免除制度の創設は。
答 町長 今後、本町としての制度の在り方を検討し

問 水道事業経営戦略では、令和9年度に10%の料金改定を見込む。毎年資産が増えている状況で、料金改定は必要ない。
答 町長 昨今の物価・人件費の上昇のほか、老朽化した設備の更新費用も増加しており、料金改定の検討は避けられない状況となっ

水道事業

問 決算書によると、令和3年度で減価償却費から元金償還額を差し引いた金額(資金の増減)が約1700万円プラスとなっている。この傾向は今後も続くのか。
答 町長 減価償却費は令和3年度の粕川大橋添架管更新工事、令和4・5年度の粕川地区配水管布設替工事などにより増加している。これらの工事は令和8年度より償還開始となるので、元金償還額は、今後増加となる見込みである。

町民の福祉向上

問 補聴器購入費助成の条件を緩和し、助成対象となる難聴者を拡大すべきでは。
答 町長 非課税世帯にはその費用負担が大きいことから、対象者を設定してお

り、対象の拡大は考えていない。
問 带状疱疹ワクチン定期接種の自己負担額を引き下げる検討を進めるべきでは。
答 町長 近隣自治体と比較しても自己負担額が高いとは考えていない。今後も近隣市町村の動向を注視しながら対応していく。



▲SSP事業の予定地(中粕川地区)

今後の町政運営は

町民の皆さまと共に築き上げていく(町長)



き す 金須 議員
しん いち 新一 議員



問 本町の将来像をどのように考えているのか。
答 町長 「たしかかな未来を創造し、夢と希望のあるまち」を町民の皆さまと共に築き上げていきたいと考えている。
問 今後SSP構想をどのように考えていくのか。
答 町長 これまでの協議を通じて構築された地権者の皆さまや各関係機関との信頼関係を維持し、誠意をもって今後の対応について協議していく。
公用車へのドラレコ設置向上と事故防止対策
問 公用車ヘドラレコを設置することは、動く防犯カメラとして非常に有効であ

り、多くの自治体で導入されている。本町では、ドラレコをどのように活用しているのか。
答 町長 交通事故発生時やあり運転の被害にあった場合の状況確認のほか、職員の安全運転への意識を高めることなどに活用している。
問 設置計画はどうなっているのか。
答 町長 現在公用車2台に設置しているが、安全運転意識の向上を図るために必要と考えているので、順次設置に向けて検討している。
問 公用車を運行する際の免許証確認、有効期間確認、アルコールチェックなどをどのような方法で実施しているか。
答 町長 運転免許証は、毎年4月に各課長が目視により確認し、公用車運転の前後にアルコールチェックにより確認している。

災害時におけるペットの同行避難

問 災害時には飼い主はペットと同行避難することが原則になっているが、知らない方も多く、受け入れ体制も十分とは言えない。取り組みの現状は。
答 町長 現状として行っていないが、令和6年6月に国の「防災基本計画」が修正され、避難所にペットの同行避難を適切に受け入



▲公用車へのドラレコ設置向上を

れることが追加となり、関係団体との連携について協議していく。
問 啓発広報活動についてはどのように考えているのか。
答 町長 関係団体と協議した後に周知していく。
問 同行避難に特化した訓練を行う必要があるのでは。
答 町長 防災訓練等において、実施可能かどうか検討していく。



大郷中学校校庭の整備を

状況を確認し、対応していく（町長）

すずき 鈴木 議員



小・中学校での暑さ対策

問 熱中症対策として、いろんなアイテムがある。今後、ネッククーラーの利用がますます増えると思う。学校内で利用し、外気温でだんだん効き目が薄れていくのを復活するために、各教室に冷凍庫などを標準装備しては。

答 町長 近年、毎年のように夏の暑さが更新され、今年は統計上最も高い気温となった。熱中症対策とし

問 大郷中学校校庭の土がかなり少ない状況である。グラウンドの造成工事をする考えは。

答 町長 学校に校庭の状況を確認していく。

問 物価高騰の影響により、食料に困窮している方もいる。フードロスと生活困窮者を上手く結びつけるものが、フードドライブ＆フードバンクを。

答 町長 フードドライブを町内5、10カ所くらいに設置し、フードロスをなるべく減らすことにより、それが生活困窮者への大きな助けになると思うが、実際に取り組む考えは。

フードドライブ＆フードバンクを

てのネッククーラー利用については、環境省の保険マニュアルでも紹介されている。本町の利用状況としては、小学校では、ネッククーラーの利用制限をしていないが、今年の利用者はいなかった。中学校では利用させていない。

ネッククーラーは、タオル式、保冷剤式、電気式など種類があり、小学校での利用者が増えることがあれば設置を検討していく。

答 町長 「フードドライブ」については、本町で設置していないが、社会福祉協議会で連携しているフードバンクから、必要な時に対応できるよう連絡を密にしている。実際にフードバンクへつなげるような相談は年10件程度であり、町独自での設置に関しては必要に応じて検討していく。

問 フードバンクの利用者を月単位で更新し、生活困窮者に寄り添った取り組みについて所見を伺う。

答 町長 「フードバンクの利用」は基本的に原則1回とされる。毎月利用できる制度ではないと考えている。長期間の生活困窮が見込まれる方は、生活保護の申請を。



▲フードバンクが住民の潤滑油に



「SSP構想」結論は

事業の徹底的な再検証に時間を要する（町長）

すずき 鈴木 議員



問 関係者や町民と話し合っ

答 町長 関係者の皆さま、そして町民の皆さまとの丁寧な対話と、事業の徹底的な再検証に時間を要すると考えている。

問 地権者との意見交換の場を持つ考えはあるのか。

答 町長 地権者の皆さまがこの事業に寄せられてきた期待とこれまでの苦勞を深く理解している。地権者の皆さまとの話し合いの場は、最優先で設定するべき

と考えている。地権者の皆さまと一堂に会して意見交換できる場を速やかに準備していく。

問 SSP構想が白紙撤回となれば、粕川地区60ヘクタールの土地利用をどうするのか。

答 町長 この広大な土地が町の将来にとって重要な資産であると認識しており、現時点で白紙撤回する判断には至っていない。

問 SSP構想が白紙撤回となれば、粕川地区60ヘクタールの土地利用をどうするのか。

答 町長 この広大な土地が町の将来にとって重要な資産であると認識しており、現時点で白紙撤回する判断には至っていない。



▲SSP事業予定地の土地利用は



在宅介護家庭の支援の詳細は

調査、検討を行っていく（町長）

すずき けいこ
鈴木 恵子 議員



子供たちの未来に 支援を

問 高校生・大学生の住民バス利用無償化や通学補助金などを支援すべきではないか。

答 町長 町全体の公共交

問 選挙公約で在宅介護手当支給制度の創設とあったが、所見を伺う。

答 町長 介護保険サービスを利用せず、在宅で介護を受けている方を支援するため、在宅介護手当支給制度の創設を考えている。詳細に現状を把握し、必要なサービス量の算出、すでに実施している他自治体の事例などを参考に、実施に向けた調査、検討を行っていく。

通の再編を行い、学生も含めた利用者の利便性を高め、より満足していただけるサービスを提供することで支援できるような努めていく。

問 町内出身の先輩方の話を聞く機会を設けては。

答 町長 今後、町内出身者やゆかりのある方、スポーツ選手など、子どもたちの刺激になるような授業の実施を検討していく。

問 町内の学生に、町でインターンシップの手助けをしては。

答 町長 町内の企業を訪問する機会などを利用して、まずは企業の考えを聞き取り、ニーズの有無を把握した上で、必要性を検討していく。

問 大郷町役場はインターンシップ受け入れをしているか。

答 総務課長 現在のところ、していない。

問 町と学生を結びインターンシップは、町の将来を見据えた地域づくりの一步だと思うが。

答 総務課長 以前、中学生の職場体験を実施したところであるが、インターン



▲安心して在宅介護を

職員に期待することは

自ら考え、自ら提案し、自ら行動を（町長）



あか ま しげ ゆき
赤間 繁幸 議員



SSP構想について の考えは

問 SSP構想については中身が決まらずに、その賛否を町長選で問うことへ違和感を感じていた。構想についての考えを伺う。

答 町長 中身の固まっていない本構想の是非を問うことは、町民の皆さまにとつても、事業推進にとつても、健全な形ではないと考える。しかし、このことは、町民の皆さまが町の将来について強い関心をもっていることの表れでもある。

私の考えるSSP構想は、決して「ゼロかハヤクか」の二元論で語られるべきものではなく、この構想を徹底的に見直し、町民の皆さまに納得していただける形にしていけることが、私の使命であると考えている。

構想が町の未来にとって、真にプラスとなる事業かをしっかりと見極め、慎重に検討を重ねていく。



▲みんなの力で素晴らしい大郷へ

シップはまだしていない。今後、検討していく。

問 他県へ進学した方が地域に関心を持ち続けることで、将来、この町に戻る、住み続ける選択肢が育つのでは。

答 商工観光課長 町内の企業に就職するというのは町の人口を増やす、町を活性化させるというところで大きな選択肢の一つかと思うが、企業のニーズを把握するところからと思う。

新しい

議会構成

です

町民課、保健福祉課、教育委員会の所管に関する事項の調査等を行います。

委員長 田中三恵子
副委員長 金須新一
委員 鈴木 安則 赤間 繁幸
鈴木 利博 赤間 則幸

教育民生常任委員会

総務課、財政課、まちづくり政策課、復興推進課、税務課、農林振興課、商工観光課、地域整備課、上下水道課、会計課、農業委員会、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項の調査等を行います。

委員長 鎌田 暁史
副委員長 鈴木 恵子
委員 佐々木和夫 熱海 文義
高橋 重信

総務産業常任委員会



議長 石垣 正博

第3回臨時会において議長の選挙が行われ、投票の結果、議長に石垣正博氏が当選しました。その後、各委員会の委員の選任などを行いました。また、監査委員の選任に同意し、閉会しました。

広報広聴常任委員会

議会広報の発行に関する調査、記録、取材及び編集等を行います。また、議会の広聴に関する調査等を行います。

委員長 高橋 重信
副委員長 鎌田 暁史
委員 鈴木 安則 赤間 繁幸
鈴木 恵子 田中三恵子

議会運営委員会

議会の運営を円滑に行うため、議会の運営方法を協議したり、議長から諮問された事項等について調査や審査を行います。

委員長 鈴木 利博
副委員長 赤間 繁幸
委員 鎌田 暁史 鈴木 恵子
田中三恵子 高橋 重信

監査委員

佐々木和夫



鈴木 安則 議員

8月31日執行の議会議員の補欠選挙の結果、鈴木安則議員（1回目）が当選しました。

監査委員の選任に同意し、2件の報告がありました

第3回臨時会

9月4日

同意第1号

監査委員の選任



佐々木 和夫 議員
(川内)

〈任期〉
令和7年9月11日～令和9年9月10日（2年間）

【報告第8号】

専決処分の報告

令和7年度 一般会計補正予算（第3号）を専決処分、8月31日投票の町議会議員補欠選挙に関する予算

【報告第9号】

繰越明許費繰越計算書の訂正

令和6年度 一般会計繰越明許費繰越計算書の財源内訳を訂正するもの

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	鈴木安則	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	高橋重信	石垣正博
第3回臨時会	報告第8号	専決処分の報告について	報告のみ											
	報告第9号	繰越明許費繰越計算書の訂正について												
	同意第1号	監査委員の選任	同意	無記名投票										

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石垣正博）は採決に加わらない。

議会の主な動き（7/1～9/30）

月 日	用 務	月 日	用 務
7/1	建町記念式典・教育民生常任委員会	8/25	議会運営委員会
7/3～4	宮城県町村議会議長会議員講座（仙台市）	8/28	全国町村議会広報研修会（東京都）
7/4	北方領土返還要求県民フォーラム・宮城県民会議総会（仙台市）	9/2	議員全員協議会
7/10	黒川地方市町村議会連絡協議会総会	9/4	第3回臨時会・議員全員協議会
7/14	仙台北部道路建設促進期成同盟会総会（富谷市）	9/5	議会運営委員会
7/15	令和7年度大郷町ドローン活用推進協議会総会	9/7	大松沢地区民体育祭
7/16	黒川地域行政事務組合議会運営協議会（大和町）	9/10	議会運営委員会
7/23	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議（仙台市）	9/11	秋の交通安全県民総ぐるみ運動大郷町拡大会議
7/29	仙台都市圏自動車専用道路整備促進期成会総会（仙台市） 吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合議会定例会（大和町）	9/12～30	第3回定例会
8/1	黒川地方市町村議会連絡協議会役員会（富谷市）	9/12	広報広聴常任委員会
8/4	宮城県町村議会議員セミナー（利府町）	9/13	ふながた若鮎まつり（山形県舟形町）
8/7	黒川行政事務組合議会定例会（大和町）	9/15	敬老会
8/8	おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会	9/19	秋の交通安全運動開始式 教育民生常任委員会
8/17	黒川地区女性防火クラブ研修会（大和町）	9/25	議員全員協議会・議会運営委員会
8/18	総務産業常任委員会（仙台市）	9/26	交通安全ゲートボール大会 おおさとスマートスポーツパーク構想に関する調査特別委員会
8/20	戦没者忠霊碑参拝・後期高齢者医療広域連合議会定例会（仙台市）		

追跡リポート



物産館2階の有効活用を

これまでの意見・提言等

問 2階和室部分にテナントを募集しては。
答 建物の修繕を含め公社と相談し、検討していく。
 (令和6年9月定例会
 決算審査特別委員会意見提言より)

その後の対応と今後の計画

物産館2階については、平成30年11月のリニューアルオープン以来、キッズスペースとして、町内で閉校となった小学校で使用していた、黒板や机と椅子、跳び箱や平均台などを設置し、簡易的な遊び場として活用してまいりました。
 和室につきましても、未就学児のお子様が遊べるおもちゃやテーブルを設置し、休憩場所として使用いただいております。
 今後は、未就学児と保護者が安心して楽しく過ごせる環境をつくるため、市販のおもちゃを購入し、遊び場機能の強化を図り、和室を含めた2階の効果的な活用を促進してまいります。
 商工観光課



▲物産館2階キッズスペース

有害鳥獣対策の強化を

これまでの意見・提言等

問 わな猟免許助成が1件しかなかったが。
答 補助金活用のPRを強化し、資格者を増やすことで対策を推進していく。
 (令和6年9月定例会
 決算審査特別委員会意見提言より)

その後の対応と今後の計画

大郷町わな猟免許取得・更新費補助金について、町の広報紙にて年3回程度周知し、令和7年4月から9月末の期間に免許更新に係る助成は2件ありました。今後も、新たな担い手の確保が急務であることから、資格取得および更新費用の補助金について、啓発に努めてまいります。
 また、鳥獣による農作物への被害を軽減・防止するため、電気柵等の鳥獣被害防止施設の購入費を助成しております。
 今後も、鳥獣対策については、上記補助金の活用と鳥獣被害対策実施隊の協力をいただきながら、対応を強化してまいります。
 農林振興課



▲捕獲されたイノシシ

教育民生 常任委員会

7/1

児童福祉・母子保健について



▲役場3階大会議室にて

【調査の概要】

令和7年7月1日(火)、役場3階大会議室において、町民課長補佐より説明を受け、児童福祉・母子保健について調査した。

【意見】

虐待防止対策について

〔町の現状〕虐待受理・対応件数は、令和5年度をピークに減少傾向にある。子どもさん自身や子どもさんを取り巻く家庭環境の多様化により、複数の課題が重なっている事案も多く、対応も複雑化している。昨年度、保健師1名が退職し、今年度は保健師2名・社会福祉士1名の3名体制で対応しているが、事案が重なった時などは対応に苦慮している。

- ①これまでと同様に学校や医療機関、役場内の関係部署と連携を図りながら、迅速な対応を継続されたい。
- ②早期に専門職の人材確保に努め、職員が安心して業務を遂行できる人事(職務経験者の配置など)を含め、働きやすい環境づくりを強化されたい。

子ども家庭センターについて

〔子ども家庭センター設立のメリット〕従来は別々の機関・窓口で対応していた児童福祉と母子福祉を統合することで、妊娠期から子育てまでの支援が一体化して提供できる。

- ①児童福祉や母子健康の専門家が連携して支援を行うため、専門的な知識を持つ人材の確保が求められる。人材確保と、研修やOJT等による職員のスキル向上に努められたい。
- ②設立前からの周知・広報活動を強化し、利用者が気軽に相談できる環境を整えられたい。

次回は

「教育内容の充実や対策について」を調査します。

総務産業 常任委員会

8/18

産業振興について調査



▲農学博士から説明を受けている様子

【調査の概要】

令和7年8月18日(月)、「JRフルーツパーク仙台あらはま」において、仙台ターミナルビル株式会社観光農業部専門監(農学博士)から、事業概要や運営状況等について説明を受け、産業振興について調査した。

【意見】

今回の調査で大きな発見があったのは、宮城県は果樹栽培に向いているということである。水稲・畜産の生産量は高いものの、果樹園芸においては、まだまだ生産量は低い状況である。

果樹栽培の管理は、大変なイメージがあるものの、「JRフルーツパーク仙台あらはま」では、梨栽培において「ジョイント栽培」という技術を取り入れることにより、樹木の生育をコントロールし省力化することによって、早期多収を可能にしている。

また、運営状況の説明を受け、果樹のもぎ取りにも大きな需要があるものと感じた。

今後、町内での梨農家を普及させることにより、本町での果樹観光にも大きな成果が期待できるものと考えます。

今回の調査において、梨栽培が水稲よりも初期投資が低く、反収が高いことを認識した。

本町が、水稲・畜産の他に、梨の産地になることによる果樹栽培と観光人口に大きな効果が期待できるものと考えます。

「JRフルーツパーク仙台あらはま」での取り組みについて、ぜひ、町民に広く周知されたい。

次回は

「防災について」を調査します。



やまもと りょうじ
山本 陵二 さん
(吉ヶ沢)

大郷町への 移住と今後の展望

2025年3月、家族3人で大松沢に移住しました。今年で30歳を迎えます。移住してまだ半年ほどしか経過しておりませんが、大郷町がどのような町なのか、まだ十分に理解できていないのが現状です。しかしながら、大郷町は大きな変化の時期にあると感じております。これは大郷町に限ったことではないかもしれませんが、20代から40代の若い世代が、町を牽引していくことが重要だと考えます。若い世代が中心となり、自分たちの町を自分たちの手で活性化させ、人が集まる町にしていくことが必要だと考えます。

私自身も、どのような形で町に貢献できるかを考え、微力ではございますが、力になればと考えております。

8/4

宮城県町村議会議員セミナー

場所：利府町文化交流センター（リフノス）文化会館

「議員活動に役立つハラスメント対策」

株式会社メンタル・リンク 代表取締役社長 宮本 剛志 氏



8/28

町村議会広報研修会

場所：LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）

「インタビュー記事を足して 読まれる広報紙にしよう」

インタビューライター 丘村奈央子 氏

「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本

～一人でもできる撮影ノウハウ、インタビュー撮影技術～」

映像講師・映像ディレクター・(公社)日本広報協会 広報アドバイザー 渡川 修一 氏



「議会活性化と連動した広報紙づくり

～住民の政治参加をうながすツールに～」

福岡県大刀洗町議会 議会広報委員会 委員長 平山 賢治 氏

編集後記

最近、日中の日差しが強いもののめつきり朝夕が涼しくなりました。

この間までの猛暑がうそのようです。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。秋といえば、秋の味覚。皆さんはどんな食べ物を想像しますか。

スーパには新米、梨、栗、里芋など所狭しと並んでいます。私はねっとり食感の里芋が大好きです。（ねっとり嫌いという人も多いですね）

これから寒くなります。寒さ対策をしっかりとって体調崩さないよう、ご自愛願います。

鈴木 安則

**正確で解りやすくをモットーに
より良い紙面づくりを目指します！**



議長
石垣 正博

田中 三恵子

鈴木 恵子

副委員長
鎌田 暁史

委員長
高橋 重信

赤間 繁幸

鈴木 安則